



今月の表紙

着物 de 日光
けっこう良い処



12月13日(土)、日光地域の門前町地区から山内で着物 de 日光けっこう良い処が開催されました。このイベントは「素晴らしい日光の町を多くの人たちに知ってもらいたい」「着物で町並みを歩き、江戸や大正浪漫にタイムスリップしたような気分で身も心も町に溶け込んでほしい」と、日光創新塾のメンバーが企画し、27名が参加しました。

各自、着物に着替えた後、それぞれ町を散策し、昼食会場の明治の館でランチを堪能したり、お茶会の会場である景勝寺で茶道の体験をしたりしました。

職場の仲間9名で参加した鈴木絵里加さん(鹿沼市)は「着物を着ることが楽しみでした。散策中には外国人に声を掛けられ、一緒に写真を撮って国際交流もでき、初めての茶道の体験も楽しかったです」と満足した様子でした。



12月19日(金)〜22日(月)、霧降アイスアリーナと細尾ドームリンクを競技会場に、全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会が開催されました。栃木県選抜チームは、20日(土)の初戦に岩手県選抜と対戦。1ピリオド開始早々に、フォワードの小野選手が先取点を決めると、押せ押せムードのまま得点を重ね、



6対0と快勝しました。2回戦は1対4と惜しくも敗れましたが、ベスト8に入ることができました。栃木県選抜のキャプテンを務めた石川友望さんは「初めて対面したメンバーもいましたが、みんな声を出し合い、走り負けないホッケーをモットーに頑張りました」と笑顔を見せてくれました。

全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会



1月4日(日)、真冬の寒空の中、中宮祠上神前で伝統行事の武射祭が行われました。これは、一荒山神と上野赤城山神が争ったという、神戦譚に由来する室町時代から続く祭りです。毎年1月4日に行われます。宮司や神職、弓道愛好家たちは、境内から赤城山方面に向けて「やあー」という声を上げながら

武射祭



矢を放ちました。放たれた矢を拾い、神社で「災難除・開運」守りを付けてもらおうと一年間良いことがあるといわれているため、会場は多くの人たちでにぎわいました。県弓道連盟の栗林悦子さん(大田原市)は、「今年も一年頑張ろうという思いで弓を引くことができました」と話してくれました。

ふおたりんぐ in 足尾



12月7日(日)、足尾と群馬県桐生市を結ぶわたらせ渓谷鐵道の15の駅でイルミネーションの点灯が始まりました。このイベントは冬の恒例行事で、今年で11回目です。足尾地域でも、原向、通洞、足尾、間藤の4駅に灯りがともされました。点灯式が開催された間藤駅には大勢の見物客が集まり、夕闇の中に色とりどりのイルミネーション

わたらせ渓谷鐵道イルミネーション

12月7日(日)、足尾と群馬県桐生市を結ぶわたらせ渓谷鐵道の15の駅でイルミネーションの点灯が始まりました。このイベントは冬の恒例行事で、今年で11回目です。足尾地域でも、原向、通洞、足尾、間藤の4駅に灯りがともされました。点灯式が開催された間藤駅には大勢の見物客が集まり、夕闇の中に色とりどりのイルミネーション



わたらせ渓谷鐵道イルミネーションは、2月28日(土)まで毎日点灯されています。石屋町から来た森日和ちゃん「お父さんと一緒に見に来ました。とてもきれいでした。光でできたトナカイが動いていたのでびっくりしました」と、目を輝かせていました。

川治ダム冬期放流イベント

12月9日(火)〜12日(金)・16日(火)・17日(水)、川治ダムで冬期放流とダム自然学習会が開催されました。このイベントは、ダム放流設備の点検期間中に合わせて行われたもので、今年が初めての開催です。放流された水の量は最大で毎秒20立方メートル。ダム管理者の話によると、これは25メートルプールが約20秒で満水になる水量のことです。



大雨時などの放流に使用する「コンジットゲート」と呼ばれる水門から水が勢よく放流されると、集まったダム愛好者や観光客たちは、盛んにカメラのシャッターを切っていました。東京都から仲間と訪れた宮島さんは、「川治ダムに来たのは10回目です。インターネットでこのイベントを知りました。迫力がすごいですね」と話してくれました。

